

帰島に関する意向調査結果

調査期間	平成16年5月17日から6月10日まで
調査対象	住民基本台帳登録世帯(平成16年4月1日現在)
調査結果	回収率:83.5%

A 問1 現在の火山ガスの状況で避難指示解除された場合の、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

年代別	対象世帯	回答世帯	火山ガスのリスクを受容して帰島する		帰島するつもりはない		不明	
			世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%
20代	30	15	8	53.3	6	40.0	1	6.7
30代	129	86	55	64.0	26	30.2	5	5.8
40代	207	158	120	76.0	28	17.7	10	6.3
50代	312	248	181	73.0	43	17.3	24	9.7
60代	348	305	229	75.1	53	17.4	23	7.5
70代	401	369	244	66.1	87	23.6	38	10.3
80以上	235	207	131	63.3	61	29.5	15	7.2
合計	1,662	1,388	968	69.7	304	21.9	116	8.4

地区別	対象世帯	回答世帯	火山ガスのリスクを受容して帰島する		帰島するつもりはない		不明	
			世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%
神着	303	262	180	68.7	63	24.0	19	7.3
伊豆	195	172	126	73.3	37	21.5	9	5.2
伊ヶ谷	115	100	68	68.0	24	24.0	8	8.0
阿古	564	455	306	67.3	97	21.3	52	11.4
坪田	485	399	288	72.2	83	20.8	28	7.0
合計	1,662	1,388	968	69.7	304	21.9	116	8.4

B 問1で「1. 帰島する」と答えた方にお伺いします。

問 2-1 火山ガスと健康影響についての説明会(リスクコミュニケーション)に参加するなどして火山ガスのことや安全を守る行動は理解している。

回答者数	はい	いいえ	不明
968	736	126	106
回答率	76.0%	13.0%	11.0%

問 2-2 今後、火山ガスと健康影響についての説明会(リスクコミュニケーション)に参加するなどとして勉強する。

回答者数	はい	いいえ	不明
126	97	26	3
回答率	77.0%	20.6%	2.4%

問3 三宅島で、薄木地区・粟辺地区・三池地区・沖ヶ平地区・御子敷地区に住んでいた方で、問1で「1. 火山ガスのリスクを受容して帰島する」を選んだ方にお伺いします。現在の状況では火山ガスの濃度が高く、噴火前の自宅には住むことが出来ない場合も考えられますが、その場合、住宅についてはどのようにお考えですか。

(複数回答あり)

選択区分	三池・沖ヶ平・御子敷	薄木・粟辺	計
1. 島内の他の場所へ住宅を建てるか借りたい。	9	2	11
2. 村営住宅等へ入居したい。	67	13	80
3. その他	9	1	10
合計	85	16	101

C 問1で「2. 帰島するつもりはない」を選んだ方にお伺いします。

問4 理由をお聞かせ下さい。(*複数回答あり)

1. 避難先での仕事や収入が安定している	26
2. 避難先に自分の住宅がある	7
3. 避難先での子供の教育環境が良い	20
4. 避難先のほうが医療環境が整っている	142
5. その他	171
1)火山ガスが不安	46
2)高齢・病気・要介護	68
3)帰島後の家屋	5
4)子供	9
5)帰島後の収入	10
6)帰島しない	3
7)その他	30
合計	366

D その他 最後にあなたのお気持ちやお考え方をお書き下さい。

(*複数回答あり)

1. なるべく早く帰島したい	148
2. ガスが止まれば帰島したい・帰島はまだ早い	129
3. 脱硫装置の設置	47
4. マスク・避難対策	76
5. 高齢者対策	83
6. 子供対策	80
7. 病気・障害・介護対策	215
8. その他のリスク	98
9. 家屋・住居対策	159
10. 仕事・収入について	113
11. その他	150
合計	1,298